

ご 案 内



広島県立総合技術研究所
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

畜産技術センター

Livestock Technology Research Center

〒727-0023 広島県庄原市七塚町 5584

Tel 0824-74-0331 (総務部)、0824-74-0332 (技術支援部)

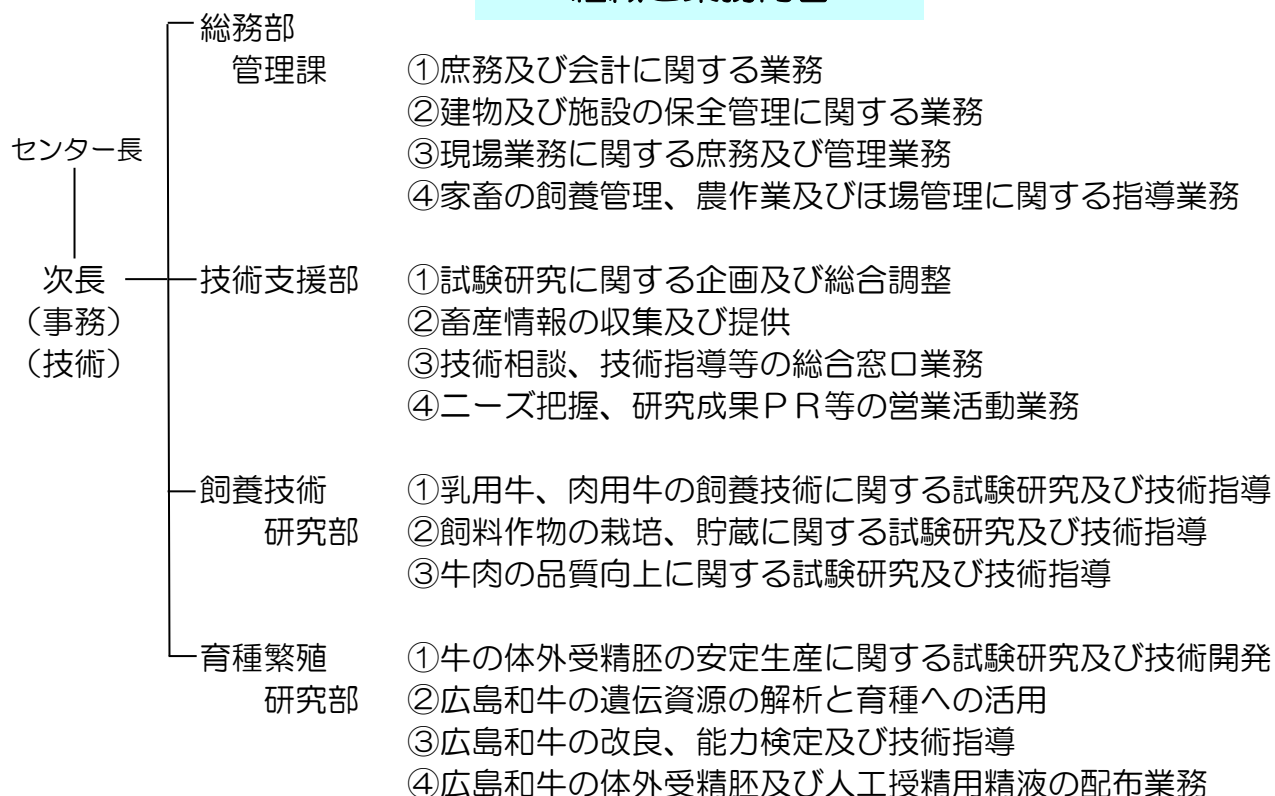
Fax 0824-74-1586

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/>



畜産技術センターHP

組織と業務内容



沿 革

<畜産技術センター>

- 明治33年(1900) 農商務省七塚原種牛牧場として設立、種畜の繁殖及び配布、種付け等の業務を開始。
- 大正 5年(1916) 農商務省畜産試験場中国支場と改称し、畜産に関する試験研究を開始。
広島県では、神石郡油木町に広島県種畜場を開設。和牛の改良及び飼養管理についての業務を開始。
- 大正12年(1923) 農商務省畜産試験場中国支場廃止の後を受けて、広島県種畜場七塚原分場として発足し、乳用牛、豚、飼料作物に関する業務を開始。
- 昭和 2年(1927) 県立農事試験場より養鶏に関する業務の移管を受ける。
- 昭和14年(1939) 広島県種畜場七塚原分場を廃止し、広島県七塚原種畜場と改称。
広島県種畜場を廃止し、広島県油木種畜場と改称。
- 昭和29年(1954) 乳牛を主体とした種畜場に改め、乳牛の改良及び酪農に関する試験を開始。
- 昭和47年(1972) 広島県立畜産試験場と改称し、七塚原種畜場を本場とし、油木種畜場を油木支場(肉用牛)、種鶏場を三次支場(鶏)、新市畜産指導所を新市支場(豚)とする。
- 昭和48年(1973) 新市支場を廃止して本場に統合し、本場の組織を総務部、企画調査部、酪農部及び養豚部とする。
- 昭和51年(1976) 飼料部を設置。
- 昭和56年(1981) 油木支場を油木肉用牛改良センターに、三次支場を三次養鶏支場に改称。
- 昭和59年(1984) 三次養鶏支場を養鶏部と改称。
- 平成 7年(1995) 広島県立畜産技術センターと改称し、組織を総務部、企画情報部、飼養技術部、生物工学部、環境資源部及び広島牛改良センターとし、三次に養鶏試験地を置く。
- 平成 8年(1996) 養鶏試験地を廃止し、本場に統合。
- 平成19年(2007) 広島県立総合技術研究所畜産技術センターと改称し、組織を総務部、技術支援部、飼養技術研究部、育種繁殖研究部及び広島牛改良センターとする。
- 平成20年(2008) 広島牛改良センターを畜産技術センターへ統合。
- 平成23年(2011) 総務部総務担当と業務課を再編し、管理課を設置。

試験研究開発の基本方針

広島県では、県民の皆様と目指す姿を共有し共感を得ることで、県民の皆様との新たな広島県づくりを推進しており、施策を貫く 3つの視点でビジョンの実現を目指します。

畜産技術センターでは、特に、農林水産局施策「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」の実現に向け、県内農家への和牛 TMR(混合飼料)の利用促進と受精胚移植技術を活用した着実な広島県産和牛の増頭、DX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用した畜産経営効率化に資する技術開発と移転を推進します。これにより、農林水産業者や中小企業の生産性向上を支援し、付加価値向上によって県経済の持続的発展に貢献することを目指します。

今年度注力している研究分野は次のとおりです。

- 1 広島県産和牛の魅力向上につながる新たな価値の研究、新規種雄牛の造成と和牛の増頭
- 2 DXの推進に向けた、基盤技術の構築と現場普及

目指す姿 「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」(R2年10月策定、計画期間R3年から10年間)

3つの視点 DXの推進、ひろしまブランドの強化、人材育成

ビジョン 将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

研究と事業

飼養技術研究部

長年に渡って蓄積した飼養管理技術にデジタル技術を組み合わせ、次世代の新しい牛管理技術を開発しています。また、既存製品の改良や新製品の開発に取り組み、牛生産性向上の支援をしています。

key words [TMR、乳酸発酵、和牛肥育、稲WCS]



発酵 TMR (Total Mixed Rations 混合飼料)



ビタミンA簡易測定器「A-Quick」



発酵飼料用乳酸菌製剤 畜草シリーズ
(雪印種苗株式会社よりR6年から発売開始)

育種繁殖研究部

受精胚技術に遺伝子解析技術やAI技術を用いて、特徴ある広島県産和牛の生産を支援しています。

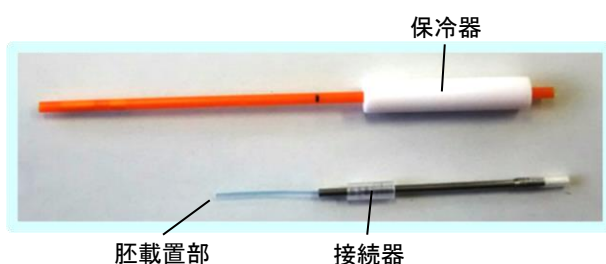
key words [体外胚、凍結精液、種雄牛、ゲノム育種価]



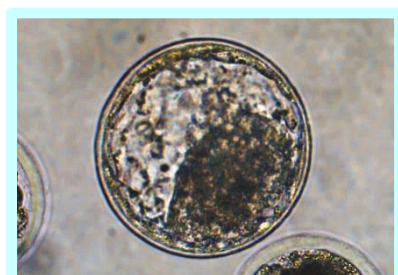
体外受精胚販売



種雄牛 News



ガラス化胚簡易取扱器具「ビトラン-7」



体外受精胚（胚盤胞）



ビトラン-7
融解マニュアル
(YouTube)



基幹種雄牛「花勝百合」

技術支援部

技術相談・現地指導・受託研究・共同研究・施設見学などの総合窓口、ニーズ把握・研究成果のPRなどの営業活動及び研究開発の企画調整などを行います。



研修の様子

過去の研究成果発表をご覧ください。



令和6年度 研究成果発表

技術支援メニュー

県内農林水産業の発展を支援するため、技術相談、技術的課題解決支援事業、受託研究、共同研究、設備利用、見学・研修受入などを行っています。

まずは、技術支援部にお問合せください。

電話：0824-74-0332 FAX：0824-74-1586

項目	概要	料金
技術相談	来所または電話・電子メールによるご相談について、一般的な知見・公知の技術などに基じた技術指導や情報提供を行います。	無料
技術的課題 解決支援事業	利用者様の技術的課題に応じて調査・分析・評価を行い、技術支援レポートを交付します。数日～1か月で解決できる課題が対象です。 例：飼料の消化性調査、牛肉の品質評価、乳用牛向け飼料の評価 など	有料
受託研究	当センターが、利用者様からの委託を受けて行う研究です。 検討に要する期間が、1か月以上の技術的課題が対象です。	有料
共同研究	利用者様と当センターで、知見や技術を交換・共有しながら行う研究です。	有料
設備利用	設備（分析機器など）の一部を、利用者様に開放しています。 開放設備については、当センターのホームページで紹介しています。	有料
見学・研修 受入	生産者団体などの視察、教育機関などの見学・研修を受け入れています。 ※一般の方の畜舎見学は、お断りしています。ご了承ください。	無料

家 畜

（令和7年2月1日現在）

乳用牛	肉用牛	種雄牛
37	42	10

アクセス

- 芸備線備後庄原駅から7km、タクシーで15分
- 芸備線七塚駅、山ノ内駅から3km
- 中国自動車道庄原ICから5.5km

